

R4年4月1日

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

⑤

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		
	② 職員の配置数は適切であるか	6	1	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		7	/
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		次年度は感染状況も見ながら実施したいと考えている
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		
	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	3	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	ここにテキストを入力		
	㉕	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		5	
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		7	
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	5	
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	
	㉙	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7	

	㉔	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	6	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	6	
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		
非常時等の対応	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		
	㊳	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

R4年 4月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	6	1		
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	1	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	1	2	4	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	5	2		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	7			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	1		5	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	6	1		
適切な支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	7			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	7			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	7			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか	7			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	2	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	1	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	6	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	4	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	3	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	1	

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		6	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表 令和 4 年 4 月 1 日

児童発達支援に係る集計結果

事業所名 児童デイサービスめばえビオラ

保護者等数（児童数）10件 回収数 5件 割合 50 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				/	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4			1		スタッフ全員が有資格者であると共に、定期的な自己研鑽に努めている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			1		生活空間における安全面に関しては、ハード面などのやむを得ない場所に関しても、備品を装着する等の対応により改善を心掛けている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な 支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	2	必要ないと思う。	様々な社会資源を利用し、交流をしたいと考えている。現状はコロナの為、難しい面もある。
保護者 への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3		1	1		ご希望いただいた保護者の方には家庭訪問などによる相談支援をさせて頂いている。今後更に充実を図りたい。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	5					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	5				コロナなどで、なかなか 面談などに参加できてい ないので、今年は参加し たいです。	コロナ禍の状況においては、対 外支援などをさせて頂いたが 不十分な面がある為、充実に励 みたい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	1	2	1	1	必要ないと思う。	保護者の交流の場所としての サービスの必要性を認識して いるが現状の社会状況では重 重に取り組みたいと考えている。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、子 どもや保護者に周知・説明され、相談や申入 れをした際に迅速かつ適切に対応されている か	5				/	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	5					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	5					
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5					
非常時等の 対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周 知・説明されているか。また、発生を想定した 訓練が実施されているか	5					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	4			1		年2回、必ず防災訓練を行い、 内容は事業所にて継続している。 今後は訓練の内容を保護者の方と 共有できるツールを考えたい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5				いつも楽しみに通っています。 とても楽しみにしています。 毎回、送迎車が見えると ニコニコしています。	常に子どもが「楽しい場所」と デイサービスを認識できるように 心掛けている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5				送迎、助かります。 いつもありがとうございます。 温かく関わってくださり とても満足しています。	常に保護者の方との対話を 大切にするサービスを心が けている。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後デイサービスに係る 集計結果

公表:令和 4年 4月 1 日

事業所名児童デイサービスめばえびオラ

保護者等数(児童数) 32名中 回答→ 18名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			運動場があり、有難い。 スペースはあると思うが、活用されているのか分らない。 動ける空間を確保してくれていてありがたいです。	スペースを効率的かつ、安全に活用できるように、人数、遊具の安全面に十二分に配慮の上対応している。 室内運動場とはいえ、限られた空間の為、密に注意している。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	6				/
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	1				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	1				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	5		今の時期は必要ないと思います。 天気の良い日の外出がよいと思います。 必要としていないので大丈夫です。	地域内交流や、様々な社会的資源を利用した療育が必要であるが、コロナ後の現状の為、状況を見ながら慎重に取り組みたいと考えている。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1			送迎の際は、細かく様子や活動内容を伝えてくれてありがたいです。 土曜日の利用が出来なくなり困っています。	保護者の方へお子様の引き渡しの際には、詳細まで療育内容を伝えるようにしている。 「土曜のご利用が…」という意見を頂いた際には、公平性かつ安全面のための職員配置のご説明をさせて頂いた。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	9	3		分らないです。 今の時期は必要ないと思います。 必要としないので大丈夫です。 今の時期、開催が難しいのでは？	保護者の方へのネットワーク形成のための場所、時間の提供が必要であるが、コロナ後の現状の為、状況を見ながら慎重に取り組みたいと考えている。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			連絡ノートも丁寧に記入してくれて、主人と読み返し、共有できるのありがたいです。	連絡ノート記入の際には、詳細まで療育内容を記入するように心掛けている。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3				
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	17	1				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4			すみません。忘れました。	保護者の方へのご説明は、保護者会などの際にさせて頂いているが、今後は保護者全体に情報共有できるよう取り組みたい。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	4				
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18				毎回、制作を楽しみに通所している。持ち帰った作品は大切に保管しています。	デイを「楽しい場所」とお子様に認識してもらうことが大切だと考えている。今後も明るい事業所にしていきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	17	1			いつも、子どもの気持ちを汲み取り、寄り添っていただき、感謝しています。いつも、助かっています。	今後も保護者の方との対話を大切にサービス提供を継続させていただきます。

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表 令和 4 年 4 月 1 日

事業所名 児童デイサービスめばえビオラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	○		児童の状況により10名定員 であっても、受け入れは慎重 検討しながら対応している。 (10名以下の場合も)	
	②	職員の配置数は適切である	○		常に適切な配置を心掛け ている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっている。また、障害の特性に応じ、事 業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされている		○	設備面、構造上の問題で 難しい問題であるが、日々 備品などで工夫しながら対 応している。	職員間での課題の共有を常に行いながら、 最善の取り組みを、常に心掛けていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、子ども達の活動に合わせた空 間となっている	○		児童の生活空間は常に 明るい雰囲気、清潔、 開放的に保てる事を心 がけている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標 設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		常にチームで改善に努め ている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者等 の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年のアンケートは集計後 総括を行い、次年度へ の改善課題として取り 組んでいる。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行 うとともに、その結果による支援の質の評価及び 改善の内容を、事業所の会報やホームページ 等で公開している	○		毎年の自己評価表は集 計内容を事業所玄関及 び、ホームページに公 表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげている		○	第三者委員は現状、設置で きていないが、保護者の方の声 などは、外部に発信している。	将来的には環境整備の上、第三者委員会の 設置を目指していきたいと考えている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	○		毎年度一年間通して、職員 が、偏りなく研修に参加で きるよう、年間計画に沿 い研修参加を心掛けている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成している	○		初回相談の際に不明な点や 新たな課題が認められる際 には、その都度保護者の方 への確認を行いながら計画 書の作成を心掛けている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用している	○		共通のアセスメントツール を用いて多面的に療育内容 を作成している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイド ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の 「発達支援（本人支援及び移行支援）」、 「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容か ら子どもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されて いる		○	保護者の方への相談 支援はニーズがある 場合はその都度行っ ている。	地域支援や移行支援に関する項目 に関しては取り組みが出来ていな い。今後取り組みたいと考えている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		アセスメントに沿った計画。支援を常に心掛けている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動内容は職員の話合いのもと、決定実施している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児童のモチベーション保持の為、バラエティのある活動計画をしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		当事業所としての課題は多いが、出来る限り活動、生活場面に応じた形で計画を策定している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングにおいてその日の支援内容や役割分担は必ず確認と情報共有に努めている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了後の日々の振り返りについては、毎日系務日誌において、職員間で振り返り及び、反省を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、ご利用をいただいたお子様の記録に関しては個々に記録を残し、改善に繋げている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		全てのお子様の支援計画に関しては必ず定期的にモニタリングを行い、支援内容の確認をしている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議については管理者だけではなく、提供責任者やその他の現場職員が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		連携機関とのやり取りは行っているが、現状では十分とは言えない。	今後は更に密に連携をしていきたい。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現状では、対象の利用者が不在	身体面・健康面で配慮の必要な児童に関しては保護者の方、専門員の方と情報共有、連携に努めている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現状では、対象の利用者が不在	上に同じ。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所・幼稚園・子ども園と送迎の際等、連携はしているが、取り組みは十分には出来ているとは言えない	今後は職員間で課題の意識共有を図りながら、計画的、多面的に取り組みたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校・特別支援学校との支援内容などの情報共有に努めているが、十分とは言えない。	今後は課題の意識共有を図りながら、計画的、多面的に取り組みたい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		支援事業所、センターの助言を受けているが、現状では十分とは言えない。	今後は更に関係機関との連携は密にして対応していきたいと考えている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		ニーズも含めて未開拓である。	この項目のニーズの把握も含めて検討したい。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	社会福祉協議会のセミナーを通してコネクションしているが十分とは言えない。	今後、この項目に関しても取り組みたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者の方とのコミュニケーションを常に心掛け、送迎なごの際に日々の様子や支援内容について共通理解に努めている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者の方への相談支援を行っているが、更なる充実が必要であると考えている。	今後も保護者の方のニーズや状況に応答する形で、情報共有しながら対応したい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際にはご理解、納得していただけるような説明を心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		出来る限りガイドラインに沿った形で支援計画を作成している。作成した支援計画は必ず保護者の方の確認をいただいた上で、支援に反映させるようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		全てのお子様に関しては、受給者証更新の担当会議等において、その他のニーズをいただいた場合は個別に助言と支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度は特に、コロナ禍もあり、実施ができない状況であった。	次年度は感染状況も見ながら実施したいと考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご利用をして頂いている期間に保護者の方からのご相談や申し入れを頂いた時は、緊急に事業所内で共通理解を行いながら迅速に対応をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ご家庭へは、毎月のお知らせを配付させて頂き、必要連絡事項、及び活動予定はお伝えしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		担当者会議、契約時などその都度、十二分に注意し対応している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者の方との共通認識および、意思の疎通に関しては個別に配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域への働きかけなどの取り組みは実施できていない。	今後、地域のニーズや状況を把握すると共に、当事業所で出来る事を検討していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時における当事業所の各マニュアルは定期的に読み合わせを行いながら内容の情報共有を行っている。	コロナ以降は保護者会の実施ができておらず、保護者への緊急時及び、災害時のマニュアル等の周知は十分でないため、取り組みを強化したい。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回(半年ごとの)事業所内訓練を実施。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時、必ずお子様の健康面の注意事項の確認を行い、職員間で情報共有をしている。	

44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー等に関しては、応じて、医師からの指示書等の定時をお願いしている。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書の記録を共有し、危険個所及び状況の共通理解を行っている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		当事業所独自の虐待防止マニュアルを定時読み合わせを行うと共に、外部の研修にも参加している。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現時点で、身体拘束対応の必要なお子様は在籍していないが、身体拘束についてのマニュアルの共通理解に努めている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○